

平成28年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	公開臨湖実習 4 「一環境 DNA について学ぼう！野外調査と実験から霞ヶ浦における生物群集の多様性を理解する一」		
<p><実習内容></p> <p>本実習は霞ヶ浦の生物群集、特に魚類と大型無脊椎動物に注目し、生物群集の種多様性およびその調査法について学ぶ。魚類については、魚類群集構造を把握するための一つの手法である現在各方面から非常に注目されている「環境 DNA 分析法」について学び、霞ヶ浦の魚類相の特徴について理解する。大型無脊椎動物に関しては、その種多様性と生息環境との関係性を野外調査と室内実験を通じて調べ、霞ヶ浦の大型無脊椎動物について理解する。</p> <p><実習項目></p> <p>(1) 魚類に関する環境 DNA 分析：湖岸での水試料採水、DNA 分析、講義</p> <p>(2) 大型無脊椎動物に関する野外調査：霞ヶ浦の深底帯(泥質)と沿岸帯(砂質)での底生動物の船上採集や、水草帯(ヨシ帯) およびコンクリート護岸帯での付着性・底生動物の採集など、環境の異なるさまざまな場所で採集をする。</p> <p>(3) 室内実験：霞ヶ浦の優占大型無脊椎動物であるユスリカ幼虫の呼吸量測定や基質選択性実験など</p> <p>(4) 実習の成果発表会</p>			
実習内容キーワード	魚類の環境 DNA 分析、霞ヶ浦、底生動物、溶存酸素、基質選択実験		
担当教員氏名・所属・役職名	中里亮治・茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター・准教授 荻部甚一・同センター・助教		
協力教員氏名・所属・役職名	山中裕樹・龍谷大学・講師 加納光樹・同センター・准教授、山口直文・同センター・助教		
対象学生・学年	学部生 (院生も可)	開講期間	平成 28 年 8 月 29 日 (月) 昼～ 9 月 2 日 (金) 昼
開講大学・施設名	茨城大学・広域水圏環境科学教育研究センター		
施設の住所	〒311-2402 茨城県潮来市大生 1375		
電話	0299-66-6886	F a x	0299-67-5175
e-mail	suiken@ml.ibaraki.ac.jp	Web Site	http://www.cwes.ibaraki.ac.jp/
交通案内	高速バス停留所「水郷潮来（東京駅から 1 時間 15 分、片道 1780 円）」または JR 延方駅からタクシーで約 10 分。事前連絡があればバス停・駅まで送迎します。		
費用	宿泊費（宿泊棟使用料、シーツ代）と食費で 9,000 円		
授業科目名	陸水生物多様性生態学実習		
単位数	1 単位 (院生の場合、所属大学院での単位認定不可)	定員数	10 名
授業料の徴収について	国立・公立・私立大学を問わず不徴収。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	定員を大きく超えた場合は、H27 年度に茨城大学公開臨湖実習 1、2 を受講済み、あるいは H28 年度受講予定の学生を優先する場合があります。参加希望者は 6 月 30 日までに電話もしくはメールでお問い合わせください。		
選抜結果連絡法	e-mail によって、履修に必要な情報とともに本人に連絡する。		